

町じゅうの藍を集めて四月からわたしは君がいな
だけ集めておわたしの部屋に君がいな
の悪口きらきら昇華して集めた女よしあわせになれ
猫どもが夜晩集つるぼくの悪口言ひ合つて
あなたを投げるから思はない思い出を春に
集合の理由はいとも告げられずぬらり

短歌、集いました。

短歌×写真のフリーペーパー

うたらば

【号外】 20120325
うたらばの集い記念号

うたらば



はじめに

2012.03.25 うたらばの集いでは
たくさんのご来場者とWEBでのご投票、
本当にありがとうございました。
おかげさまで130名の方から
1070票もの投票をいただきました。

一方で、
ご投稿いただいたにも関わらず
会場の展示物およびWEB投票フォームに
投稿歌が掲出されないという
あってはならないミスを犯してしまいました。
楽しみにしていただいたのに
悲しい想いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。

あらためて謝罪し、
この場にまず掲載させていただきたく思います。
お読みになられた皆様、ぜひ作者の方々へ
ご感想などお送りいただけますと幸いです。

今後はこのようなことがないように、
さらなる注意を払って作業をしてまいります。
間抜けな企画人ですが、
今後ともうたらばをよろしく願いいたします。

田中ましろ



会場未掲載歌



81

「点呼します」並びたいけど並べない 上履き片方見つからなくて

(こいけみふゆ)

82

なつかしき顔が集まり泣いている弔いの日にボクは目覚めた

(たむぼりん)

83

僕たちはたった一つの点だった 星座のようになれたね、ここで

(トーヤ)

84

ぽつぽつと灯ることばのさざめきはさかずきの底抱きあっている

(ヒラタアリ)

85

秘密基地ずっと一緒のおまじない約束しよう、集え、小指たち

(九条はじめ)

86

江戸っ子より道産子がすき？日比谷公園の鳩がわたしに集まってくる

(寺菴しずか)

87

何度でも「はじめまして」を繰り返すあなたの声が引力になる

(紗都子)

88

この指に止まった人が正しいと決められていて花いちもんめ

(天鈿女聖)

89

忘れたくないって思う瞬間を集めるひかり桜ちらちら

(氷吹けい)

90

今夜こそ愛が地球を救うからテレビの前にみんな集まれ

(木下龍也)

以上、10首。

本当に

申し訳ありませんでした。



最多得票短歌



44票

はなびらが離れぬままに落ちてゆく椿を母は「家族ね」と言う

(Tetsu)





得票数 1 位 (44 票)



一番歌 2 位 (7 人)

花びらと落ちていく椿を家族だとお母さんが
言いきるところがとてもいいと思いました。
家族は花びらが集まった形であり、落ちる
ときも離れないもの、そんなお母さんの強
い思いを感じた歌でした。(七電さん)

お母さんってこんな感じ。

(飯田彩乃さん)

椿の花は首から落ちるので
縁起が悪いと言われますが、
それを 180 度逆の視点から
見て「家族」と詠んだ点が
新鮮でした。(土屋智弘さん)

椿の密接さを歌いつつ、その背後に、一家心中的な
おそろしさがある。母が主体(子)に向かって言う
ことでそのホラーぶりが増している。(むしたけさん)

一人暮らしを始めて早 5 年。社会人になって会社やそれ
以外の場所で色々な人と出会ったり別れたりを繰り返
しています。そんな中でもずっと自分を見てくれていて、
どんなときでも味方でいてくれる家族の存在が自分
にとっては物凄く大きいです。特に母には今でも色々と迷
惑をかけていることもあり、この歌を見て、つい母親に
連絡したくなりました。自分の母がこの言葉を言ってい
る場を想像できるぐらいの素敵な歌です。(きこさん)

主催からひとこと

最多得票おめでとうございます！実は個人的にも一番惹かれたお歌でした。
このノスタルジックな読後感は Tetsu さんワールドな気がします。
さすが、のひとこと。

はなびらが離れぬままに落ちてゆく椿を母は「家族ね」と言う

(Tetsu)



最多一番短歌



「一番好きな歌」に選んだ人

8人





目的のない集まりで眠くなり
誰かの靴を履いて帰った

(実山咲千花)

得票数 **3** 位 (40 票)一番歌 **1** 位 (8 人)

意味は「説明しろ」と言われてもできないけど、80首のなかで群をぬいて目につく短歌。特別な言葉は何も使っていないのに、一度読んだら忘れられない。(種可南子さん)

80首「集」というテーマで集まった歌の中で唯一、集まる！という気合いが感じられなくてよいと思いました。(野比益多さん)

次に会うとき返してね。
(二葉吾郎さん)

何故かはわからないのですがとてもとても好きです。あるようでないような温度の感じが。(恒木真優子さん)

何気ない日常の光景。平易な言葉遣いだけれど面白さを的確に捉えていると思います。少し毒を感じるところも素敵です。(龍翔さん)

ふしぎに共感してしまい何度みても笑ってしまう。ふだんなら1位にはしないけど個人的にツボった。(とびやまさん)

大学生のイメージ。よくあることを詠んでいるけど、言葉の並びにムダやかざりがなくて好きです。(篠原謙斗さん)

目的のない集まりで眠くなり誰かの靴を履いて帰った

(実山咲千花)

主催からひとこと

一見、事実を詠んでいるだけ。なのにこんなにも多くの人を魅了する短歌なのは、シーンと言葉の選び方にセンスが溢れているからでしょうか。
二葉吾郎さんのコメントにツボりました(笑)



**最多 & 一番
上位の短歌**

ルーペって凶器なんだよ空じゅうのひかり手紙に集めて君は

(田中ましろ)





得票数 2 位 (42 票)



一番歌 5 位 (5 人)

光景が浮かんで、ちょっとぞわっとするような、でもかわいらしい「君」が笑って言うから笑ってきくよー…という感じが好きです。(藍原品さん)

危険な臭い。
きなくさい魅力。
手紙は燃えてしまうだろう。
(飯田和馬さん)

無邪気な残酷さがあって好きです。
後半のリズムも好み。
(結城直さん)

上句の話し口調で邪気な怖さを誘いドキッとさせながら、空じゅうの「ひかり」を集めるという、決着がとてもすてきと思いました。手紙には何が書かれてるんだろう。(嶋田さくらこさん)

主催からひとこと

こんなところでいて、ごめんなさい！
でも、お選びいただきありがとうございます！！

ルーペって凶器なんだよ空じゅうのひかり手紙に集めて君は

(田中ましろ)

ぼくたちの衛星だった

いつだって集合写真右上の君

(太田 槇子)



得票数 **12** 位 (21 票)  一番歌 **2** 位 (7 人)

更に遠い弱い光の星でした。わたし。(@peyon3 さん)

「集合写真右上」ってどちらかというとクラスの外れ者(？)みたいなポジションのイメージですが、それを「衛星」と表現してることでポジティブなイメージになっているのが好きです。(都季さん)

集合写真すら撮れなかったあの人の事を思い出し、右上でもそこに居られた歌中の人をうらやましく思えました。(けにちんさん)

衛星には、そうか、いつも見守られていたんだなあ。距離感がすぎです。(後藤グミさん)

ぼくたちの衛星だっ
たいつだっ
て集合写真右上の君

(太田槿子)

主催からひとこと

「集合写真」が何首か存在していたのにもかかわらず一番に挙げる人が多かったこのお歌。

「右上」とつけることで行間の奥行きがでて、様々な想像をかき立てる。すごく素敵な作品だと思いました。

スカートに拾い集める

あなたからこぼれつづける春のつぶやき

(小林ちい)





得票数 4 位 (30 票)



一番歌 - 位 (1 人)

この方の大好きな‘あなた’が発する温かい言葉。そのひとつひとつを大切に噛み締めている様子が、ほんわかと幸せな気分になりました。好きな歌です。(橙さん)

主催からひとこと

スカートを広げて集めるものを「春のつぶやき」とした点がさすがです。スカートを広げる絵は思い浮かぶ。けれど、集めているものはふんわりとしたヴェールに包まれている。そこが想像力をかきたててこのお歌を「気になる短歌」に仕立て上げているのだと感じました。

スカートに拾い集める
あなたからこぼれつづける春のつぶやき

(小林ちい)

A street scene in Paris, France, featuring a large, ornate building with a prominent dome in the background. The street is lined with classic European architecture. In the foreground, a traffic light is visible, showing a red light. A yellow bus is on the left, and several cars are on the road. The overall atmosphere is hazy and bright, suggesting a sunny day.

朝もやにごみ収集車が消えてゆくきのうのあなたの熱ごとのせて

(こゆり)



得票数 - 位 (17 票)



一番歌 4 位 (6 人)

昨日は確かに存在した熱が、ゴミとなる朝。せつないし、切り取り方が好き (ちりピさん)

朝の日常風景を切り取っているだけのように見せて、切なくてエロティックです。静謐な風を感じました。(氷吹けいさん)

朝の情景がふわっと浮かびます。住む場所は問わずに……。あれだけの熱い気持ちをぶつけてくれたのに、それを抱き続けてはられない互いの事情があるのです。かっちりと廃棄処分しておかなければならない愛です。(mimi さん)

ゴミはかつて必要だった不要なもの。恋人の熱をゴミと言ってしまう感情の走りとそれを抑えようとするかのような静かな風景描画でこの歌に深みを与えていると思う。(牛隆佑さん)

景色と温度と気持ちといろいろなものが伝わってきて好きです。(未央さん)

主催からひとこと

下の句から伝わってくる作中主体の感情が上の句で描かれた景色でふわっと増幅されるような、そんな印象を持ちました。うまいなあ。くやしいなあ。

朝もやにごみ収集車が消えてゆくきのうのあなたの熱ごとのせて

(こゆり)

30 票～16 票の短歌



22



28票

あの人が集めたフィギュアの中にあるひとつが実はわたしなのです

(ほたる)

コレクションのうちに入れるということが、「好き」の表現になっているところが面白かった。(Anri Mineさん)

14



27票

わたくしをちゃん付けで呼ぶひとの背に五感あつめてふれるゆびさき

(たえなかず)

相手の何もかもを逃したくないという緊張、張り詰めた様子が伝わってきました。初めてふれるようなドキドキ感も感じてこちらまでドキドキしました。(まひろさん)

80



26票

にんべんをもっといっばいあつめなきや体がぜんぶ本になるまで

(じゃこ)

一番好きなにんべんの歌。比喩的で第一印象だと理解しづらいですが、「にんべん」という言葉、「体がぜんぶ本になる」というイメージに目を引かれます。他人をにんべんと表現する発想、その結果をネガティブなものだと受け止める感覚、それも漠然とネガティブではなく、何となく自我の消失を匂わせていること（勝手な読みかみですが）、またにんべんと本という文学のリンク、など各所に心惹かれました。（高島津詠さん）
※一部抜粋

38



25票

たくさんさんの歌の中からひとつだけあなたの歌をさがす日曜

(二葉吾郎)

78



25票

今日ここであなたと出会い消えてゆくただそれだけのためのうたです

(ケイ)

切なさがあふれている。
いい歌だと思いました。
(アサノ ヨウタさん)

しなやかで色っぽく
て・・せつな可愛さに
惚れました。
(本間紫織さん)

32



24票

夜空からはみ出ししている星だけを繋げて作る新たな星座

(山本左足)

「夜空からはみだしている星」って地上できらきら瞬いているもの、こと、ひとかなと思いました。私は明滅するひとつの青い有機交流電燈だ、という宮沢賢治の詩を連想したり。(記憶だけで言っていて、正確な引用ではないです。悪しからず。)散り散りだったそれらを繋いで、新しくも美しいかたちや意味を創ろう、というイメージで読みました。素敵。
(山口翔子さん)

夜空からはみだした星で星座を作るというのにはしびれました。イチオシです。
(たたさん)

42



24票

プロ野球選手のシールを集めるがのの佐藤ばかり当たる

(くどうよしお)

なんでしょう、
このリアリティ。
(さまよいくらげさん)

野球カード集めていた
ので共感しました。マ
ニアックなところを攻
めた姿勢に乾杯！
(北大路京介さん)

52



21票

てのひらをつたわる熱に感嘆符あつめ音叉となるわたしたち

(杜崎アオ)

ふるえるような恋。と
ても強くて、とても切
なくて、「音叉」という
単語が心を凝縮して響
かせていてとても好き
です。「感嘆符」という
単語も効果的だと思
います。
(さとうすずえさん)

楽しいのが伝わって
くる。ジトジトして嫌な
雨も、きみと一緒になら。
(ちりびさん)

69



20票

さみしくはないけど4月始まりの手帳にはさむ集合写真

(葉山なぎ)

絵が浮かぶ短歌が好きなんです。そのうえ気持ちまで伝わるので一番に。

(天国なおさん)

私もおんなじことをしているな、と思ったのですごく理解できました。口語文で一見短歌っぽく見えないところも好きです。4月始まり、というのが直接的だけど、手帳にすることですこし露骨っぽさが減っていいと思います。

(ろくもじさん)

33



19票

ハッピーはあなたが投げたくだらない思い出たちの寄せ集めです

(シヨージサキ)

すごく前向きな言葉で始まるのに、最後までよむととても切実で共感性の高いことをきれいな31文字にしているなあと思いました。

(こゆりさん)

「寄せ集め」という表現が良い。「集合」とか「集まる」という作品が多い中で埋没せずに、上の句からまとまりを感じさせられてみればそうだな、と発見がある歌と思いました。

(猫丘ひこ乃さん)

36



19票

つきあってるわけじゃないあの娘にも別れを告げてこの街を出る

(篠原謙斗)

わざわざ付き合っているわけじゃない、と前置きするところに、自意識の過剰さと控えめ具合が拮抗があって面白い。

(六条くるるさん)

感情移入してしまって。きゅん。(いちさん)

79



19票

春だからダブルソフトを食べている白いお皿のある部屋で

(麦太朗)

明るい部屋に白い皿いっぱいあってきれい。きれいな歌やのに笑える。笑えるのにさわやかでつるんとしてる。すてきー!!
(じゃこさん)

母がシールを集めていたのを思い出しました。
(里見てふさん)

「ダブルソフト」という言葉のひびきがすきです。ダブルソフトと白いお皿の白×白が、すごく春らしくてすてきでした。
(小川千世さん)

12



17票

猫どもが月夜の晩に集つてはぼくの悪口言ひ合つてゐる

(冬野 凧)

空き地でにゃあにゃあ
鳴いている姿が目につ
かびます。「ぼく」は猫
どもに何をしたんだろ
う。(水野はつねさん)

54



17票

散らばった恋を集めて積み上げる倒壊しない愛ならほしい

(こはぎ)

55



17票

お日様はとめどなく目に落ちてきて夜、ことごとくあなたになった

(飯田和馬)

美しい歌だと思いました。
余韻が残ります。
(ゆいこさん)

まぶしさとあたたかさ、
目を灼くひかりがお日
様とあなたとで重なり
ました。うつくしいお
うたでした。
(しづくさん)

80 首の中でいちばんポ
エジーをかんじました。
(本多響乃さん)

58



17票

雨音をあつめて鳴らす傘のなかリズム音痴な君の口笛

(嶋田さくらこ)

規則正しい雨音とリズム音痴の対比がおもしろい。傘の中の二人が目に浮かんでくるよう。
(螢子さん)

情緒ある絵と音が同時に浮かんできて、感じのいいショートムービーみたい。
(ユキノ進さん)

59



17票

あのひとの嫌いなところ三十個あげてみたけど答えは同じ

(本間紫織)

女性らしい可愛い歌だなーと思います。
(古燈さん)

好きになった人の短所を知って挙げていっても結局行き着く答えは変わらないという感情が、ストレートに反映されていて良い恋歌だと思いました。
(桶田 沙美さん)

01



16票

幾光年分の無縁の瞬きの句点を結ぶプラネタリウム

(岡野大嗣)

無縁。本当は何光年も離れている。それを勝手につないでいる
(さかもとひとえさん)

前半の難しい感じと語彙の窮屈な感じが、結句のプラネタリウムでキラキラに変わる印象が面白く読めました。
(わだたかしさん)

09



16票

冬が気化してゆく音を集めてく飛行機雲は東へ東へ

(月兎耳)

17



16票

かなしみの欠片をぼくは集めてて本当はしあわせになりたい

(たた)

全身全霊で共感!!
(小林ちいさん)

43



16票

二の腕とお腹と背中から集め、前傾姿勢で詰め込んだ夢

(龍翔)

45



16票

弁当のフタが外れていたみたい 手提げの底に集う唐揚げ

(猫丘ひこ乃)

うふ、かわいい♪可
笑しいけれどちょっと切
なくもありますよね。
(たむぼりんさん)

「手提げの底に集う唐揚
げ」のフレーズの完成
度にやられました。
(酒井千由紀さん)

72



16票

この指にとまれよとまれ風の中ひとりぼっちが叫んでいます

(文月郁葉)

さみしさがストレートで切実。きっと風、強いと思う。そんな勢いがある。(ちりピさん)

指に誰もとまってくれない、なにもとまってくれない。孤独感。キュンと胸を締め付けられます。(北大路京介さん)

76



16票

おはようもおやすみもない関係を集めてできたカラフルな街

(御子柴楓子)

「おはようもお休みもない関係」というのは都会の一人ぐらしまたは隣の人が何をしているのか知らないマンションの生活を感じました。「カラフルな街」は見かけは華やかだが実際は砂漠のような都会でしょうか。今の街の実体を詠んだ歌だと思います。(住友秀夫さん)

～15票の短歌



※ここからは票数なしの展示順となります。
票数が気になる方はDMかメールでお問い合わせください。

02

たくさんの悪口きらきら昇華して集った女よしあわせになれ

(藤野唯)

◆女の集団＝悪口という恐ろしいものをとりあげながら、視線に愛があって好きです。(メグミックスジュースさん)

03

町じゅうの藍を集めて四月からわたしは青いところへゆきます

(ムラサキセロリ)

◆藍から青に色が移っていく様子が素敵です。直感的に好き。

四月からという響きと色のさわやかさがいいと思いました。(たえなかずさん)

05

走・転・散おはじき集める姪の手の零れる幸せひいふうみい

(すずき葵)

◆リズムを感じるような歌が響きました。

そして、目に浮かぶような姪っ子さんの姿も感じ取られ生き生きとしたところが惹かれるます☆(清水さん)

06

あの春にぼくらは戻れる高い空「あつまろうぜ」の呪文のせれば

(さまよいくらげ)

07

感情を三十一文字の旋律に集めて落とす昔も今も

(桶田 沙美)

08

事実だがほんの触りで宇宙だと？集合無意識に熊出るぞ

(久哲)

10

赤黒い雨を集めた水瓶が溢れぬようにひびを走らす

(熊倉えりお)

◆閉じこめられざるをえないものとしみだすべきものの相克が切なく迫り、響きました。

「赤黒」「雨」「水瓶」「走る」の語彙がイメージの連鎖を呼んで気持ちよいです。(米倉利栄さん)

11

「こんにちは」で始めてみる？ 僕らはとつくに言葉の縁で繋がってるけど

(水瀬宗)

13

集合は八時公前に十八時 朝定食を一緒に食べよう

(わだたかし)

◆ 集合からオールの流れが見えているなか、下の句がおしゃれ。
吉〇家とかじゃなくカフエのだとしんじてる。(芹沢玄さん)

15

集合の理由はいつも告げられず ぬらり 春へと投下されてく

(野比益多)

16

0と1 それだけの存在としてぼくらは思い通りにできる

(黒木うめ)

18

携帯はマナーモードに切り替えた 集中力は切らずにいます

(伊藤夏人)

19

恋人の発信直ちに受信せよマスプロアンテナ星空に立つ

(空音)

20

春の人指しゆび空にかざしては集まるものを愛するこことち

(飯田彩乃)

◆「春の人差し指」というのが素敵な表現だと思いました。
集まるものをというのも何が集まるのか想像できて楽しい歌だと思えます。(竹内 亮さん)

21

3月をかき集めたらマーブルの雪玉 ふざけあうだけの旅

(とびやま)

23

降る雪よ集いて消せよ目に見えぬプロメテウスの火を埋めこめよ

(土屋智弘)

足りないよ好きなモノだけ集めてもわたしの部屋に君がいなくて

(まどろみたいむ)

「今度またみんなが集まろうよ」って君からメール二人だけじゃダメ？

(なるなる)

神ほとけ 鬼と蛇とが 共住まい どんちゃん騒ぎの 我が心かな

(穂積 出雲)

雛の宴終えて目隠しされて入る 一年の闇或いは永久の

(いらくさ)

29

目立ちたいわけじゃなかったどれ見ても真ん中にいる集合写真

(螢子)

◆この歌の主人公は、子どもの頃から、目立ちたがりの明るくて元気なキャラクターだと周囲に認識されていて、ある時期からそれに違和感を覚えはじめた、そういう歌なのでしょう。そうだとすると、笑顔で写ってる、という表現を入れたくなりそうだけど、そうしなかったところが良いと思いました。(実山咲千花さん)※一部抜粋

30

二度と開かれることなく本棚の隅で眠り続けるハワイ

(赤井悠利)

31

週末はおしくらまんじゅう汗をかきその後みんなでビール乾杯

(北大路京介)

34

先生の「集合！」という号令に集えるあいつら民族浄化

(高島津諦)

35

青い鳥収集家はもう鳥籠を捨てて旅立つ 「あなた」へ会いに

(都季)

37

キラキラとしたものだけを集めてる少女になってあなたのもとへ

(まひろ)

39

ブラウスの水玉たちをとり出して愛をかたちにするのに使う

(小川千世)

◆視点がおもしろいなと思いました。(シヨージサキさん)

40

一駅を歩いてきたら踏切はたくさんの人が集まる場所

(山本まとも)

◆だれもが何度も見ている風景を改めて短歌に切りとられたときの新鮮な色あざやかさのある一首だと思いました。(イマイさん)

41

重ならぬベン図ばかりが華やいでわたしときみとはさよならをする

(わらこ)

◆ベン図、ということばが新鮮でした。調べてみて、ああ、と思いました。(工藤琴子さん)

44

切りすぎを後悔してる集まれの拡散メール君に会えない

(mimi)

46

せつかくの機会なんだし各地から「ああ、あなたもいらしたんですね」

(芹沢玄)

47

溢してた心の雫気付かずに掬ってくれた君離さない

(古燈)

49

早朝に世界文学全集の鳴き声を聞く抱えて帰る

(翠彩)

◆この位置に「世界文学全集」を持つてくるところに
意味のよく分からない圧倒的なセンスを感じました。(松原さん)

50

集団行動さぼって独り読むのはバスケマンガ矛盾は青春

(松原)

53

空の木という名の塔のてっぺんに天使がこっそり集う朝五時

(ユキノ進)

56

ひとりでは生きてはいけぬということを群れなす鳥に教わっている

(橙)

紺の密度から目を離せないまま体育館の列をはみだす

(笹木真優子)

◆「列をはみだす」気持ちがあんまりいいなって思いました。(ムラサキセロリさん)

一行のものがたりならとじられぬ歌集におとす檸檬のしずく

(いないずみ。)

呼びあってまた放たれてちがう色 万華鏡のなか遊ぶ僕らは

(大平千賀)

◆鮮やかな色彩が目には浮かびました。万華鏡のきらめきを「遊ぶ」と表現したところが、好きです。(伊藤明さん)

一度だけきみの隣でほほえんだ春の旅行の集合写真

(本多響乃)

◆高度に詩的な歌や機知に富んだ歌は他にありますが、この歌は「集」という題に直撃に向き合っていて好感が持てました。たたずまいの美しい歌です。(麦太朗さん)

63

春の手は春をあつめる目隠しにわたしはうつとりまた春になる

(太田宣子)

◆春のうっとり感が「春」のリフレインで心地よく表現されていて好きです。(ちよろ玉さん)

64

風をよむ形で腕を高く上げ託宣としての「この指とまれ」

(里見てふ)

◆抜ける青空が情景としてしっかり浮かび、その斜め下の人差し指。意思強く、光り。

さわやかに、好きだなあと思いました。てらいのない鮮やかな言葉で、繋がりが。(水川史生さん)

65

きょうまでの恋をあつめたフォルダーの削除メニューを押せないでいる

(天国なお)

67

群集のただ中にあるたくさんの愛たくさんの無記名の愛

(廣田)

目印はバラの花束　カラフルね孤独な人の集まりなのに

(壬生キヨム)

集まってしまおうだろう　蛾も人も身を焦がしても足りない光

(悠風)

◆上句の主体の想いと下句の情景とのバランスがよい。

光に集まる蛾の習性をうまく歌意に反映させている。蝶ではなく蛾であるところがよい。(いないずみ。さん)

へびひかりりかしつのいすすとらいききれいなものをあつめています

(牛隆佑)

◆見た目からきれい。(わらこさん)

今日までの涙あつめて子供用プールに入れた　虹が映った

(ゆいこ)

「信じてよ」って顔を残してきみはまたあの人たちのほうへと戻る
(むしたけ)

集計を終えたあなたの左手とさよならをする指輪を返す

(水川史生)

Special Thanks

投稿者のみなさま

投票者のみなさま

and...



空 き 地

<http://空き地.jp>